

## 令和2年度第4回定例社会教育委員会議 議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和2年11月27日（金）午後2時～4時
- 2 開催場所 浦安市文化会館 3階 中会議室
- 3 出席者  
（委員）  
藤田委員長、松木副委員長、大塚委員、田中委員、橋爪委員、淵野委員、工藤委員、室井委員  
（事務局）  
生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、郷土博物館長、中央図書館長、市民スポーツ課長、生涯学習課長補佐、生涯学習係  
（ゲスト）  
浦安市市民参加推進課  
浦安市市民活動センター・コーディネーター  
浦安市社会福祉協議会
- 4 傍聴人 1人
- 5 議題
  - (1) 報告事項
    - 1) 行事の開催報告
      - ①2020浦安スポーツフェア開催報告
      - ②令和2年度ふるさとようらやす作品展開催報告
      - ③令和2年度第2回図書館協議会開催報告
      - ④令和2年度青少年文化・芸術支援事業「市民まつり青少年音楽祭2020」開催結果
      - ⑤第40回市美術展開催報告
    - 2) 行事の開催案内
      - ①令和2年度生涯学習フォーラムの開催案内
      - ②第4回浦安市写真展の開催案内
      - ③令和2年度第23回市民手工芸作品展の開催案内
  - (2) 協議事項
    - 1) 提言書について
  - (3) その他
    - 1) 次回の会議日程について  
次回の会議日程  
第2回臨時社会教育委員会議 令和3年1月21日（木）午後2時からを予定。  
場所 市役所4階 S2・3会議室

## 6 議事概要及び会議経過

### (1) 報告事項

#### 1) 行事の開催報告について

事業の概要について資料をもって説明とした。委員からの主な意見・質問は以下の通り。

#### ①2020浦安スポーツフェア開催報告

(委員長) 天候等を心配したが、コロナ感染症予防対策をして大変な中、よく実施したと思う。各団体の皆様に感謝したい。指定管理者の施設の利用料など大幅な減少が予想されるが、支援策など、市としてどのような配慮があるか。

(事務局) 生涯学習部で指定管理者に運営を委託しているのは、文化施設では文化会館、市民プラザ、音楽ホール。スポーツ施設では、総合体育館、武道館、東野プールなどがある。指定管理者とは、毎年度で協議書を交わしており、その中で予算化したものを支払って、最後精算という形をとっている。市の施設の利用料が減っても、指定管理者にその分を補填していただくということはない。コロナ禍で4月、5月休館していた中で、光熱水費など直接支払っていない部分は、精算時などに返還していただくことになる。

#### ②令和2年度ふるさとうらやす作品展開催報告

(委員) 小学校、中学校時代に浦安の作品に取りかかるには、浦安を知らないとできないことである。課題はいろいろあると思うが、大変重要な事業である。

(委員長) ホームページでも紹介されたとのことなので、コロナ禍の中でも、子どもたちの作品が多くの人に見られたということで、新しい試みとして、よくがんばったと思う。

#### ③令和2年度第2回図書館協議会開催報告

(委員長) 8ページを拝見して、返却された本は24時間放置して、必要ある場合にはアルコール消毒するといった配慮に、職員の努力と苦労を感じた。入館票も鍵のかかるキャビネットに1か月保管するとあり、徹底している。入館に関しての対応は統一してやっているのか。

(事務局) 入館票の手続きなど、生涯学習部所管の施設では、基本的に統一している。一時、注意報(黄色旗)になったので、入館票については、あまり強制的なものにせず、ご本人の意志によって記入いただくなど、若干緩めた部分もある。

(委員) コロナにより読書離れが出ていると思う。読書習慣で、語彙力、読解力、理解力、文章力が増すとされている。図書館の役割は非常に大きいものがあり、今後も使命をもって読書活動推進計画などを進めて欲しい。

#### ④令和2年度青少年文化・芸術支援事業「市民まつり青少年音楽祭2020」開催結果

(委員) 参加人数が少ないかと思ったが、予想以上のたくさんの参加者がいた。参加して例年以上に感動した。このコロナの中で練習をどうしていた

か、かなり努力したのだと思う。普通ならオンラインで済ますところだが、感染リスクもある中、開催したことは画期的だと思う。出演者、関係者に敬意を表したい。

(委員長) 参加して同じ思いを持った。児童生徒にとって、文化会館大ホールで演奏することができる、そのような機会を与えていただけたことは英断であった。

#### ⑤第40回市美術展開催報告

(委員) 11ページで、入場者数が倍増しているが、どのような要因か。

(事務局) 昨年度は、市民プラザを大規模改修した関係で、文化会館での開催となった。少し交通の便が悪いこともあり、人数が減った。市民プラザでは、ギャラリーと多目的大ホール、両方の入口でカウントしているが、文化会館の場合、3階をすべて使ったので、3階にいらした方でカウントした。

(委員長) コロナで出品点数が大幅に減少しているかな、と思ったが、昨年と比べて2点しか減らなかった。40回という歴史を重ねており、市民に定着している。コロナの影響はなかったのか。

(事務局) 開催を決定する前は、作品が集まるかどうか心配であった。運営委員会に参加している各団体の方から、「作品を出していただけるだろう」との意見をいただいた。一方、開催を断念した展示会が多く、発表する場が減っている現状があり、例年とおりに開催した市美展では、ほぼ同数の出品数となった。

## 2) 行事の開催案内

### ①令和2年度生涯学習フォーラムの開催案内

### ②第4回浦安市写真展の開催案内

### ③令和2年度第23回市民手工芸作品展の開催案内

生涯学習課より概要を説明した。委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 13ページの生涯学習フォーラムであるが、ヘルマンハーブの演奏を16名で行う予定であったが、東京都でのコロナ感染急拡大の影響を受け、都知事が「不要不急の外出の自粛」、「都外への移動の自粛」を呼びかけており、人数が6名になってしまうことを報告しておく。友情出演予定であった日本ヘルマンハーブ振興会、会長の梶原千紗都氏も参加できなくなってしまった。代わりに以前、ヘルマンハーブを紹介したDVDの上映を考えている。

(委員) 「第2次浦安市生涯学習推進計画」の重点的な取り組みの一番目に「障がいのある人の学びの充実」が掲載してある。今回のフォーラムは、とても大事なものである。広報やPRして、もっと多くの市民に周知した方がよい。ホームページを見ても、すぐに出てこない。このようなフォーラムやシンポジウムには、ぜひ、このような音楽や、または演武など、講演だけでない内容にして欲しい。

## (2) 協議事項

### 1) 提言書について

委員長より、これまでの経緯と概要を説明した。

また事務局より、当日配布した資料（「新型コロナ感染拡大防止に伴う社会教育に関するアンケート（社会教育関係団体・中間報告）」に関する説明を行った。委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 「1. 会員数」で、数が非常に多いと思うが。

(事務局) スポーツ系の団体などは人員が多く、1,000人を超える団体もいくつか入っており、平均すると172人となる。

(委員長) 「高齢者が自宅に引きこもっている」という挨拶をしたが、集計を見て、どうであろうか。

(事務局) アンケートを集計しているの感想であるが、活動を再開した時期が団体によって差がある。団体の活動内容や年齢構成により異なることが推測される。年齢構成も確認しているので、今後、分析していきたい。

(委員長) 回答率が高いので驚いている。各団体の現状や課題、悩みなどを抱えているようで、提言書作成の非常に貴重なデータとなる。

(委員長) これから市民活動センター及び社会福祉協議会との懇談に入るが、まず各委員の自己紹介と近況を報告いただきたい。

(委員) 浦安市スポーツ協会理事長をしている。

(委員) 3月末日まで、千代田区で知的障がいの人たちとの活動を30年行っており、退職して、地元での活動をいろいろさせていただこうかと思い、取り組んでいるところである。

(委員) 社会教育委員以外では、都内の大学で客員教授を行っている。浦安では災害救助犬、木に親しむ会、里海ネットワークの活動を行っている。

(委員) 日の出中学校で学校評議員、学校支援コーディネーターを行っており、未来塾にも参加している。専門はロシア語だが、マナー講師の資格もあるため、日の出中学校の3年生には、受験の際の面接マナー、1・2年生には挨拶についてのマナー講習会の講師をしている。念願であったが、日の出中学校で12月18日、ギタリストの岡本拓也さんのクリスマスコンサートを開催できることになった。

(委員) 婦人の会連合会、会長をしている。8月から千葉県農産物を応援しようということで、マルシェを開催した。社会福祉協議会の方も先日見学していただき、購入にも協力いただけた。令和3年2月14日に婦人の会の関東ブロック大会を文化会館で開催するが、浦安高校の吹奏楽部において、オープニングセレモニーで演奏していただくことになった。

(委員) 青少年相談員をしており、例年、ドッジボール大会を行っていたが、ボールが接触するというので、モルックというスウェーデンから来た競技に代えて、子どもたちに楽しんでもらえる機会を作ろうと思っている（2月13日開催予定）。浦安南高校の教員で、社会福祉協議会さんには、ふれあい募金活動で一緒になっており、また来年お願いできればと思う。ボランティア部の顧問もしており、またいろいろとお世話になりたいと思っている。

(委員) 浦安市立小・中学校PTA連絡協議会の会長をしている。PTA活

動・学校活動は秋ごろから行事などができるようになってきた。高洲中学校でもICTを活用して、合唱コンクールも密にならないよう実施した。

(市民参加推進課)

市民参加推進課は、市民活動センターを所管している部署として参加させていただいた。

(市民活動センター)

市役所1階の市民活動センターでコーディネーターをしている。市民活動やボランティアをしたい人、している人をサポートする施設。市役所ホールで市民活動フェスティバルを行っているが、今年はコロナ禍ということで形を変えて行っている。皆さんに動画を作っていたでいて、動画による活動紹介と、ZOOMを使ってのワークショップを行った。12月2日まで開催しているので、見学して行って欲しい。

(社会福祉協議会)

社会福祉協議会には3つの課があり、老人福祉センターと、富岡の地域包括支援センターを運営している。地域福祉推進課では、ボランティアセンターとして、ボランティアをしたい人と、お願いしている人をつなぐコーディネーター業務や、ボランティア連絡協議会の運営などを行っている。ボランティア団体は今、若干減っているが現在、20グループある。災害時には、災害ボランティアセンターの立ち上げなども行う。また浦安を11地区に分けて、社会福祉協議会の支部活動、支部社協と呼んでいるが、支部社協の所管も行っている。

(委員長) 社会教育委員会議の議事内容では、これまで教育委員会内での検討に留まってしまっていたが、時代の流れとしては、福祉団体や市民活動団体などと協力していかないと、これからのまちづくりが成り立たないと感じている。今回のコロナで、これまでの生涯学習に対する認識が根底から崩されたと思っている。4月以降、コロナ禍での、所属する団体などの状況や課題、育てるための戦略などを教えていただけたらと思う。最後に、皆様方から生涯学習分野への要求、要望などがあればお聞きしたい。

(市民活動センター)

コロナ禍と言いながら、いくつかタイプがある。動きを制限する団体もあれば、今だからできることをやるという団体もある。ZOOMやICTを利用して会議を行ったり、4月頃からワークショップを行っていた団体もある。逆にいいチャンスとして、非常によく頑張っている団体も多い。

(委員長) 所属されている団体数は、どのくらいあるのか。

(市民活動センター)

現在、256団体ある。公民館を利用している社会教育関係団体のような団体もあるし、地域課題に真っ向勝負という団体もある。中には自治会も入っている。

(社会福祉協議会)

2月21日に浦安市が当面の行事を中止するという情報が入ってきて、それに伴い、行事や会議を中止する方向となった。時期的に、災害ボランティアセンターの運営訓練が、交通公園で予定されていたが、中止になった。3月は支部社協のボッチャ大会を総合体育館のメインア

リーナで行う予定が中止となった。各支部社協の会議や高齢者サロン、子育てサロン、バスツアーなどはすべて中止とするよう伝えた。協議会自体は東野の総合福祉センター内にあり、2階の会議室の貸し出しを行っていたが、それも中止となった。ボランティアセンターに登録しているグループは、ほとんどその会議室を利用していたことから、活動がほぼ中止となった。お弁当ボランティアグループによる食事サービス事業も、調理室が使用できなくなり、中止となった。支部社協は団体なので総会などがあるが、全支部、書面にての開催になった。6月15日に総合福祉センターの会議室が再開し、徐々に活動は始まっている。支部社協の活動は、温度差はかなりあり、年度末まで会議を行わないところもあれば、高齢者サロンなどを再開したところもある。ボランティア活動として、随時活動していたものに、目の不自由な方々に対して、広報うらやすの内容を録音する活動があるが、声の録音室（総合福祉センター1階）は閉鎖しなかったため、活動は継続して行っている。拡大写本グループと点訳グループも、ボランティア連絡協議会室（総合福祉センター2階）が閉じなかったため、かろうじて活動ができた。7月31日に東野パティオができて、会議室や調理室はそちらに移管したが、調理室は11月まで許可が出ず、お弁当グループの活動は11月になってやっと再開となった。高齢者向けの茶話会活動も始まった。コロナ禍が長く続いたことで、モチベーションはかなり下がったようだ。手芸のボランティアグループは40年以上、昭和54年頃から活動をしており、長く続いていたが、高齢者のみでということで解散となった。介護者の家族の会というボランティアグループも、リーダーの方が身体を壊したこともあり、解散としている。

(委員) 手芸ボランティアは高齢化のため解散とあったが、中には活動できる人もいたのではないか。

(社会福祉協議会)

手芸の方々は個人登録でボランティア登録はしていただいているが、活動自体は行っていない。高齢者の方々が中心の会なので、外に出たくないという面もある。介護者家族の会もリーダーの方の年齢が70代半ば、メンバーの多くが80代ということで、高齢化もあり解散となった。

(委員) 高齢化で解散というパターンが多く、次を育てるという方法はないだろうか。自分もコロナ禍で体調を崩し、情報を得ようと思っても、外に出られないので、情報を得る手段がない。インターネットで公民館などを調べても、どんなことをしているか、連絡をしないとわからない。自らも高齢者のため、切実に感じている。解散した後でも、どうにかフォローができないか。個人登録をしているとのことで、紹介などはするのか。

(社会福祉協議会)

紹介はしている。手芸ボランティアは40年間続いており、当初から活動している人たちは80歳を超えている。中心になっていた人に、認知症状が現れ、活動ができなくなったことが一番大きかったかもしれない。個人登録者も、現状では、コロナが怖いので活動自粛になってしまっているのではないかと、思う。次世代への手立てについては、協議会での課題となっている。昭和54年（1979）に作られたボランティ

ア会の方たちが母体となって今日まで来ている団体は、中心となる方たちが高齢化になっていったところに、コロナの影響で活動自粛する流れになってしまっている。1月の頃に元気だった方々が、急激に気持ち下がっている感じになっている。お弁当ボランティアも解散の話があったが、国の緑綬褒章という、国の最高峰の受賞が決まり、モチベーションが上がったところで東野パティオの調理室も使えるようになり、活動の意欲が増した例もある。

(市民活動センター)

担い手の高齢化という点では同じような課題はある。ただ市民活動センターでは、地域課題に取り組むということが命題としてあるので、そもそも何のために集まっているのか、という点に立ち返るよう、念仏のように唱えている。そこがなくなってしまうと、市民活動でもNPOでもなくなってしまう。ほかの団体とも触れ合う機会を持つことも、モチベーションの維持には大事と思う。今回、動画を撮ってもらったが、高齢者の団体などもあり、当初はずいぶん抵抗もあったが、なだめながらやっていくうちに、各団体とも3分間の動画を仕上げてきた。

(委員) 動画3分をまとめるのは大変だと思うが、何かサポートは行ったのか。

(市民活動センター)

担当も動画には詳しくなかったもので、編集ソフトを買って、少しはわかっていないと失礼なので勉強した。どうしても音響が入らないなどの団体には、サポートをした。ほとんどの団体は自分たちで試行錯誤して仕上げてきた。

(委員) 今度、浦安南高校で、「こども食堂」とご一緒させていただくが、皆さん、ご高齢で、食事を作ることは大丈夫だが、子どもと遊ぶとなると大変だという。ボランティアグループや団体が、「こんなこと困っている」ということを伝える仕組みは重要と思う。

(市民活動センター)

中には内部的な問題で、美しい悩みごとばかりでないことがある。人間関係もあるし、事業収入を得るグループだと、お金のことも関わってくる。相談にもものるが、その前に、なるべく自分たちで活動を見て、声をかけるようにしている。

(委員) 3月から知的障がい者の、通学支援ボランティアを行っている。ボランティアには、シニアの方が多かったが、助かったのはボランティア同士の情報が密であるということ。担当者が中に入り、情報交換を密にしたことが大変よかった。

(委員長) 市民活動センターにお聞きしたいが、活動している皆さんの最終的な目標とは何だろうか、自分をどうやって高めるか、ということか。

(市民活動センター)

自己実現もあるが、NPOで地域課題に取り組んでいる団体は、少しでも状況がよくなる、またはよくなったと感ずることができることが、やりがいにつながり、次へのステップアップになると思う。

(委員長) とても大事な力だと思う。将来、行政組織も小さくなるだろうし、地域住民が自力で横のつながりを強めて高めていけるまちは強いと思う。ボランティアセンターや市民活動センターが様々な取り組みで頑張っておられるが、相互のつながりはこれからだろう。コロナ禍で、浦安

市も財政難で、いろいろと厳しくなる。連携を深めていければ、と思う。

(市民活動センター)

コーディネーターなどのつなぎ役が必要と思う。浦安高校のコミュニティスクールに関わっているが、学校の先生方がとても忙しく、ボランティアとの連絡がおろそかになることも今まであった。見守りながら、ときには助言する人が必要である。

(委員) コロナ禍で、高齢者は引きこもりや、活動の停滞など暗い話題が多いが、三番瀬と境川のクリーンアップでは、10団体くらいで大きく盛り上げており、実行委員が若返っている。コロナで中止していたが、再開時に400人くらいが参加した。その中でも、老人クラブ（ベイシニア）の方たちが、旗を揚げたりして、130人くらい来て、嬉々として活動していた。時間も収入も余裕のある人たちが、中町あたりにはいる。高齢化はすべてマイナスだけでなく、シニアパワーも有効に使うべきと思う。

(委員長) 議論は佳境であるが、市民活動センター、社会福祉協議会と相互の意見交換ができた。これを第一歩に、連携をとっていければと思う。今後とも、よろしくお願ひしたい。忙しい中、ありがとうございました。

(3) その他

1) 次回の会議日程について

(事務局) 次回の会議日程は、第2回臨時社会教育委員会議。

令和3年1月21日(木)午後2時からを予定。

場所は市役所4階、S2・3会議室。

臨時会では、アンケート分析結果を報告し、提言書の内容検証を続ける。

以上で本会議は終了した。